

地域の課題をみんなで共有し応援する「すぎなみプラス」から 2つのプロジェクトが実現しました

杉並区が運営する地域課題解決のためのポータルサイト「すぎなみプラス」にて、2つの“地域の居場所づくり”プロジェクトが実現しました。

人口減少や超高齢化の進行など、社会の大きな変化により、地域が直面する課題は複雑かつ高度化しています。これらの課題を行政だけで解決するのが困難になってきており、区民・団体・事業者・教育機関といった多様な主体が連携・協力していく新たな協働の仕組みづくりが求められています。

そこで区では、令和5年度より、地域の課題解決に向けて、多様な主体が連携・協力する仕組みとして、「公民連携プラットフォーム」の運用を始めました。この仕組みの一環であるポータルサイト「すぎなみプラス」は、地域活動を充実させたい個人・団体と、ノウハウや人材・場所等の提供をとおして協力したいと考える個人・団体をつないでいく取組です。区は、「すぎなみプラス」で募集等を行い、新たな活動やコミュニティを生み出していくための出会いの場づくりや連携・協力に向けた伴走支援を行っています。

このたび、「すぎなみプラス」を活用して生まれた2つのプロジェクトが実現し、地域住民の憩いの場となっています。

■みんなのおうち たっぷ（西武新宿線井荻駅周辺）

このプロジェクトは、下井草地域で子育てを通じてつながった仲間たちが「まちと人をつなぐ場をつくり、だれもが役割のある居場所を創りたい」という思いから立ち上げた団体「TOWN(まち)&PEOPLE(人)（通称TAP）」が主導し、西武新宿線井荻駅近くの空き店舗をリフォームして、子どもから高齢者まで地域の人々が集えるコミュニティレンタルスペース「みんなのおうち たっぷ」を開設しました。



「みんなのおうち たっぷ」を開設するにあたり、プロジェクトの周知や改装資金面に課題を感じていたことから、「すぎなみプラス」を通じて情報発信や仲間募集を実施。その結果、SNSを活用した広報戦略や資金調達に詳しい協力者とつながることができ、クラウドファンディングで100万円以上の支援を獲得しました。令和6年10月の立ち上げから半年間の準備を経て、令和7年4月26日にオープンしました。

現在は、様々な個人・団体がこのスペースを活用し、駄菓子屋やフリーマーケットの開催などの地域活動を展開しています。

<所在地> 東京都杉並区下井草4-29-17
<開館時間> 9～18時、年中無休

■ネリオのこみち（JR 西荻窪駅高架下）

30年にわたり荻窪地域で子どもたちを支援する活動を行ってきた団体の代表の方を中心として、子どもも大人も安心して過ごせる居場所づくりを目指す有志で結成した一般社団法人「ピエニ・オヴィ」が企画・運営し、JR 西荻窪駅高架下の「西荻マイロード」の一面に新たな地域の居場所「ネリオのこみち※」をオープンしました。



多くの人が行き交い、集まる駅周辺に設けることで、多くの大人に見守られながら子どもたちが気軽に立ち寄ることができる施設となりました。

区は、鉄道高架下物件を管理する㈱ジェイアール東日本都市開発とこの団体との引き合わせを行い、開設に向けて伴走支援を行ってきました。その結果、クラウドファンディングを経て令和7年7月8日にオープンしました。

「ピエニ・オヴィ」としては、駅を通行する多くの人々の目に触れることで、居場所づくりの取組を広く知ってもらい、その大切さを社会に伝えていくことを狙いとし、企業側も、自らの保有スペースを社会資源として地域活動に活用されることにより、社会貢献につながると考え、今回の取組が実現しました。

現在は、西荻地域の居場所として、学校に行きづらくなった子どもや保育園帰りの幼児親子など、多様な子どもたちが利用できる居場所として多くの人が集まっています。

※「ネリオ」とは、フィンランド語で「素敵な広場」を意味しており、子どもを真ん中に、様々な人が集まる広場の小道という意味を込めて命名しました。

<所在地> 東京都杉並区西荻南3-24
<開館時間> 10～20時、木曜・日曜・祝日は休み

【浅野克彦公民連携担当課長のコメント】

この2つのプロジェクトは、いずれも「地域に居場所を作りたい」という、地域のプレイヤー皆さんの想いを受け、そのつながり作りとして、区も伴走をさせていただきながら共に進めてきました。今後も地域の皆さんと共に、地域の力が育まれるような協働の取組を創出していきたいと考えています。

【報道機関 問い合わせ先】

公民連携担当：03-3312-2111 内線 1461
広報課報道係：03-3312-2111 内線 1574